

H28年度における 湧別川ほか 減災に関する取組み

湧別川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

大項目	中項目	小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容		
					H28	H29	H30	H31	H32	H33				
迅速かつ 確実な避難行動のための取組	ハード対策	① 国管理区間 ・堤防天端の保護 (湧別左岸地区、 遠軽右岸地区)	H32年度 までに 実施	網走開建	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	[天端保護] 遠軽右岸地区	[天端保護] H29:湧別左岸地区		
		② 北海道管理区間 ・堤防天端の保護箇所の 検討と実施	H33年度 までに 実施	振興局	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・対策が必要となる区間の検討及び必要 な区間の整備		
		■防災活動の ためのハード の整備及び有 効活用の取組	① 防災拠点施設の強化 ・防災行政無線の整備 及び更新 ・防災拠点施設に おける 自家発電機等の改良検 討及び防災拠点代替施 設検討	H33年度 までに 実施	湧別町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・防災行政無線更新(デジタル化H34.11 末まで) ・防災拠点施設における自家発電機等の 改良検討	
				遠軽町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・防災無線の整備 ・防災拠点代替施設検討	
		ソフト対策	① 想定最大規模の降雨による 浸水想定区域、家屋倒壊等氾濫 想定区域、破堤点別洪水浸水想 定区域図(浸水ナビ)の公表	H28年度	網走開建	■ ■ ■							・平成28年6月30日 告示公表済み ・H28年度末までに浸水ナビについて公 表予定	・H29.6時点浸水ナビについて公表済 (H29中公表予定)
				H30年度 までに 実施	振興局	■ ■	■ ■	■ ■						・平成29年度中に、水位周知河川である 生田原川について公表予定 ・その他の支川についても簡易的な手法 を用いて、計画的に実施する予定
	② 想定最大規模の降雨による 浸水想定区域に基づいた避難所 や避難経路の設定		H33年度 までに 実施	湧別町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハ ザードマップ整備、避難所や避難経路の 見直し、防災計画等への反映	
				遠軽町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・新たな洪水浸水想定に基づく洪水ハ ザードマップ整備、避難所や避難経路の 見直し、防災計画等への反映	
	③ 想定最大規模の降雨による 浸水想定区域に基づいた、ハ ザードマップの作成、まるごとま ちごとハザードマップ(街の中に 想定浸水区域や浸水深・避難 所・避難経路等を看板等で示す) の検討(支援含む)		H33年度 までに 実施	網走開建	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・市町のハザードマップ作成のための支 援を実施予定	
				気象台	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・必要に応じて支援など行う
				振興局	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・市町のハザードマップ作成のための支 援を実施予定
				湧別町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・平成25年3月に、浸水範囲、避難場所、 避難所を明示したハザードマップを作成 し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域表示に伴うハザード マップの見直し ・まるまちハザードマップ設置検討
				遠軽町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・平成27年9月に、浸水範囲、避難場所、 避難所を明示したハザードマップを作成 し、町民に全戸配布	・最大想定浸水区域表示に伴うハザード マップの見直し・作成 ・まるまちハザードマップ設置検討
				広域組合	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・消防職・団員を対象とした災害図上訓練 を実施し、構成町の災害危険区域、浸水 区域、避難所等の把握と、出動時の課題 を検討。	・発災時の避難誘導活動を想定し、組合 構成町のハザードマップを基に、消防職・ 団員間で浸水区域・避難所・避難経路等 の情報共有に努める。
	④ 円滑な避難行動のため、道 路管理者との連絡体制網の構築		H28年度 から 実施	網走開建	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・流域関係機関に冠水する恐れのある道 路等のリスト聞き取り調査を実施(2月～3 月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理 及び必要に応じた見直し ・道路管理者と連携し、資料整理と共有を 図る	
				振興局	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を 図る
				自衛隊	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・共有を図る
				北海道 警察	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		・共有を図る
				湧別町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を 図る
				遠軽町	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・聞き取り調査に協力	・道路管理者と連携し、資料整理と共有を 図る
			広域組合	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	・構成市町(湧別町・遠軽町)と共有を図 る	・道路管理者との既存の連絡体制(暴風 雪、交通事故、道路トンネル災害、油流 出など)の整理と共有	
				■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■	■ ■		
	■避難情報、 警報等をわか りやすく、適切 なタイミングで 確実に伝達する ための取組		① 住民の避難行動を促すた め、スマートフォンを活用したリアル タイム情報提供や洪水予報等 をプッシュ型で情報発信するた めのシステム構築	H29年度 までに 実施	網走開建	■ ■	■ ■					・スマートフォンによるリアルタイム情報提 供を実施	・H29年度末までにプッシュ型情報配信を 実施予定	

湧別川ほか 減災に関する取組方針 フォローアップ

[illegible]

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容
						H28	H29	H30	H31	H32	H33		
迅速かつ 確実な避難行動の ための取組	ソフト 対策	■水害リスク 情報の周知や 自助防災意識 の啓発	① 住民が参加した水災害避難 訓練、水防災に関する講習会・ ワークショップ、小中学生への防 災教育、湧別川流域ほか、水害 特性を踏まえた広報活動を実施 する	H29年度 から 実施	湧別町		■	■	■	■	■	・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・広報紙H28.10月号に水災害に関する特 集記事を掲載 ・地域住民、自治会による「北海道地域防 災マスター」の認定取得促進	・関係機関主催の訓練等に参画 ・出前講座、講習会や防災学習等を実施 ・啓発記事や広報誌のHPへの掲載
					遠軽町		■	■	■	■	■	・災害対策本部図上訓練	・関係機関主催の訓練等に参画、また、 学校での防災教育や住民への出前講座 の実施
					広域組合		■	■	■	■	■		・関係機関主催の訓練等に参画また、講 習会や防災学習等に参画
					北海道 電力		■	■	■	■	■		・必要により関係機関主催の訓練等に参 画また、講習会や防災学習等に参画
迅速かつ 確実な水 防活動の ための取組	ハード 対策	■洪水氾濫を 未然に防ぐ対 策	① 国管理区間 ・浸透対策 (野上左岸地区、 中湧別地区)	H32年度 までに 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	[浸透対策] 野上左岸地区、中湧別地区	[浸透対策] H30:野上左岸地区
			② 北海道管理区間 ・河川整備:河道掘削、 堤防整備 (生田原川、サナブチ川) ・水防拠点の設置検討 (生田原川) ・適切な河道の維持管理 (河道掘削、伐木等)	H33年度 までに 実施	振興局	■	■	■	■	■	■	[河道掘削] ・生田原川、サナブチ川 [堤防整備] ・生田原川	[河道掘削] ・生田原川、サナブチ川 [堤防整備] ・生田原川
		■監視体制の 強化	① 湧別川のほか中小河川な ど、水害リスクの高い箇所状況 が把握できるよう、現地観測杭・ CCTVカメラの設置等、観測機器 の調査検討及び監視体制の強化 を図る	H33年度 までに 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・水害リスクの高い箇所の状況が把握で きよう、現地観測杭を設置。また水害リ スクの高い箇所に水位計を設置 (KP2.2 右岸、KP22.8左岸) ・水位計設置箇所の検討と簡易水位計の 購入	・引き続き計画的に水害リスクの高い箇 所に水位計を設置
					振興局		■	■	■	■	■		・水害リスクの高い箇所点検や監視体制 の検討を行う
		■水防活動の 資機材整備	① 水防資機材の備蓄基地等の 配置や、資機材量の検討と新技 術を活用した資機材の検討・配 備	H33年度 までに 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・現況の水防備蓄量の確認を実施 ・新技術の資材等調べ ・水防拠点や備蓄基地の配置の検討を 実施	・水防拠点や備蓄基地について必要性の 検討及び配置の検討を行う
					振興局		■	■	■	■	■		・必要に応じ備蓄・資機材置き場の検討 を行う
					自衛隊	■	■	■	■	■	■	・防災装備品を計画的に整備している	・引き続き、計画的に整備予定
					湧別町	■	■	■	■	■	■	・小型発電機5基、投光機5基を購入、町 内3箇所の備蓄庫に配備	・災害時備蓄計画に基づき、備蓄資材保 管庫及び各避難所への備蓄を継続して 行う。
					遠軽町		■	■	■	■	■	・本所、各総合支所に水防拠点として水 防資材を備蓄している。	・水防資機材量の検討
					広域組合		■	■	■	■	■		・構成町で整備した水防資機材に関し、 実動部隊となる消防職・団員への情報共 有を図る。
	ソフト 対策	■水防活動に 必要な情報の 共有	① 迅速な水防活動を支援する ため、水防資機材等の保有状況 の情報を共有しておくとともに、 定期的な資材の状態点検を行う	H28年度 から 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	・保有状況確認と状態点検を実施 ・関係機関に対して保有箇所・状況の聞 き取り調査を実施 (2月～3月)	・出水来前までに関係機関の保有状況を とりまとめ整理し、情報共有を行う ・今後、必要に応じて見直しを行ってい く
					振興局	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・保有状況の情報共有を行う ・資機材補充の検討
					自衛隊	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・共有を図る
					湧別町	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
					遠軽町	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
					広域組合	■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・共有を図る ・引き続き、資機材等の保有状況の確認 と情報共有及び点検を実施

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容				
						H28	H29	H30	H31	H32	H33						
迅速かつ 確実な水 防活動の ための取 組	ソフト 対策	■水防活動に 必要な情報の 共有	② 毎年、重要水防箇所の見直しを行い、水防団や住民が参加する水害リスクの高い箇所の共同点検を実施するとともに、土地勘や経験の乏しい人員にも分かりやすい巡視マップの作成及び定期的な情報共有を行う	引き続き 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・巡視マップの作成を実施 ・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・重要水防箇所の見直しを実施	・巡視マップを更新すると共に関係機関へ情報共有を図る ・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・引き続き、重要水防箇所の見直しを行う			
					振興局		■	■	■	■	■	■		・関係機関のほか住民等を交えた共同点検に参加予定			
					自衛隊		■	■	■	■	■	■		・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定			
					湧別町	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・独自の危険箇所リストを作成し、パトロール強化を図る ・道区間の共同点検に参加		
					遠軽町	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と一体となって共同点検を実施 ・その他の河川については、出水期前及び出水時には土木担当課を中心に適宜実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定 ・出水期前の道区間の共同点検に参加		
					広域組合	■	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関と一体となって共同点検を実施	・関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定		
					北海道電力		■	■	■	■	■	■	■		・必要により関係機関のほか住民等を交えた共同点検を実施予定		
		■水防活動体制の強化	① 関係機関が連携した、高速な洪水流による河岸侵食をシナリオに組み込んだ、水防訓練の実施	H29年度 から 実施	網走開建		■	■	■	■	■	■	■	■	・実動訓練のためのシナリオ作成を行う(H29年度中) ・関係機関と一体となって実動訓練の実施	・実動訓練のためのシナリオ作成を行う(H29年度中) ・関係機関と一体となって実動訓練の実施	
					气象台		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・各自治体等主催の訓練等に参画
					振興局		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・各自治体等主催の訓練等に参画
					自衛隊		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・各自治体等主催の訓練等に参画
					北海道警察		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・各自治体等主催の訓練等に参画
					湧別町		■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・町も協力している自治会主体の訓練に反映 ・町内建設業協会との災害時協力体制に関する協定締結。
					遠軽町		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・町も協力している自治会主体の訓練に反映
	広域組合		■	■	■	■	■	■	■	■	■		・各自治体(水防管理団体)等主催の訓練等に参画				
	■水防活動体制の強化	② 水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集(リーフレットやHPを通じた広報活動)や水防協力団体の募集・指定の促進	H28年度 から 実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・リーフレットやHPを通じ、水防活動の担い手となる水防団員(消防団員)の募集を行う ・減災協議会で水防協力団体の説明を実施	・引き続き継続実施		
				振興局	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・ポスター掲示やリーフレット配布を通じ水防活動の担い手となる水防団員の募集を行う。	・引き続き継続実施	
				湧別町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・遠軽地区広域組合消防本部と協力し、水防団員(消防団員)募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布を実施	・水防団員(消防団員)募集に係る広報、ポスター掲示やパンフレット配布 ・町新入職員の積極的な入団促進	
				遠軽町	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・ポスターの掲示等、広域組合の募集活動に協力	・引き続き水防(消防)団員や水防協力団体の募集及び指定促進を継続実施	
				広域組合	■	■	■	■	■	■	■	■	■	■	・消防団員として入団した者に対する教育、訓練の機会に、水防事務についての教養を図る。	・引き続き継続実施	
					■												

大項目	中項目		小項目	目標時期	取組機関	スケジュール (上段:計画、下段:実績)						H28年取り組みの状況	H29年以降の取り組み内容					
						H28	H29	H30	H31	H32	H33							
効率的・効果的な排水活動のための取組	ハード対策	■排水活動の資機材整備	① 排水ポンプ車等、排水活動に必要な資機材の整備検討	H28年度から実施	網走開建	■	■	■	■	■	■	■	・関係機関に対して保有箇所・状況の聞き取り調査を実施中(2月～3月)	・流域関係機関で共有できる資料の整理を行う予定 ・必要な資機材の配備検討を行う ・今後、必要に応じて見直しを行っていく				
					自衛隊	×								・共有を図る				
					湧別町	■							・聞き取り調査に協力	・共有を図る ・必要な資機材の配備検討を行う				
					遠軽町	■							・聞き取り調査に協力 ・排水ポンプ車購入(H24年度購入) ・照明車購入(H28.6.23購入)	・共有を図る				
					広域組合	■							・聞き取り調査に協力	・共有を図る				
			② 排水活動を行うスペースの整備検討	H28年度から実施	網走開建	×							・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討					
					振興局	×							・排水方法の検討を行うと共に、それに必要な施設の検討					
					ソフト対策	■排水活動の体制強化	① 既設排水系統を関係機関と共有し、資機材搬入経路と想定排水箇所の設定や排水機場の操作要領見直し検討を行い、排水ポンプ車等を活用した排水計画の作成	H29年度から実施	網走開建		■	■	■	■	■	■	・流域関係機関が保有する排水資機材の聞き取り調査を実施中	・水害時における浸水の影響を軽減し社会経済活動の早期再開に資するべく、効果的かつ効果的な排水計画策定のための検討を実施し、策定する
									振興局		■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・網走開発建設部と連携し整理を図る
									湧別町		■	■	■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る
	遠軽町		■	■					■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る				
	広域組合		■	■			■	■	■	■	・聞き取り調査に協力	・資料整理への協力と共有を図る						
	② 排水ポンプ車等を使用した、関係機関共同での排水訓練の実施	引き続き実施	網走開建	■			■	■	■	■	■	■	・引き続き計画的に継続実施 H28:北見地区、美幌地区、湧別地区で実施(10回開催)	・引き続き計画的に継続実施 場所は未定、今後は流域関係機関へも声かけを実施				
			振興局				■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画				
			湧別町				■	■	■	■	■	■		・ポンプ排水訓練に参画				
			遠軽町		■	■	■	■	■	■	・ポンプ排水訓練に参画 ・町保有のポンプ車設置訓練を実施							
	広域組合	■	■	■	■	■	■	■	・当組合所有資機材の取り扱い訓練を定期的に実施	・ポンプ排水訓練に参画								

湧別川の減災に係る取組方針に基づく これまでの取組状況について

【網走開建、振興局】北海道における災害時等の相互協力に関する細目協定の締結

- ◆網走開建とオホーツク総合振興局において、災害時の相互協力に関する連携強化のため、細目協定を締結しました。
- ◆災害が発生し、又はおそれのある場合の北海道開発局、北海道及び札幌市の相互協力を円滑に行うことを目的として平成28年12月に北海道開発局、北海道及び札幌市により「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」が締結されたことを期に、より一層の連携強化を図るため、各部局間において細目協定が締結されました。

相互協力に関する細目協定の締結について

- ・網走開発建設部及びオホーツク総合振興局は、網走管内における細目協定を平成29年3月7日に締結しました。



協定 調印の様子 平成29年3月7日

【相互協力に関する細目協定の目的と内容】

- ◆目的: 各機関の相互協力、連携強化により、災害発生又はおそれのある場合に、被害の拡大防止及び二次災害防止並びに被害施設の早期復旧等に資することを目的としています。

◆協定の内容

被害状況の把握、応急復旧等の実施に係わる建設資機材の貸与や職員の派遣に関する協力を行うとともに、平常時から緊急時の連絡体制及び保有する建設資機材に関する情報交換、災害時の要請が輻輳した場合の調整

◆細目協定締結について

災害対応時の具体の必要事項(管轄区域や協力要請の手続き等)を定めました。

※「北海道における災害時等の相互協力に関する協定」

平成28年12月9日、北海道開発局、北海道及び札幌市により締結された協定を主軸に、全道の開発建設部及び振興局において、具体の細目協定を締結し、より一層の連携強化を図っています。



北海道開発局、北海道、札幌市の
協定調印の様子 平成28年12月9日
(北海道開発局HPより)

【網走開建、気象台、振興局】要配慮者利用施設への説明会について

- ◆ 昨年の一連の台風などの豪雨災害を踏まえ、国土交通省、厚生労働省及び各自治体が連携し、要配慮者利用施設管理者に向けた河川情報等への理解を深めていただくための説明会が全国で開催され、このたび、網走管内においても開催されました。
- ◆ 要配慮者など災害弱者の避難を、地域社会全体で連携支援し、確実な避難の実現のため、洪水や土砂災害リスクの高い区域に存する要配慮者利用施設については、避難確保計画作成及び避難訓練の実施が義務化されています。

要配慮者利用施設への説明会開催状況

- ・ 網走管内における説明会を、網走地区、北見地区、遠軽・紋別地区の3地区で開催。

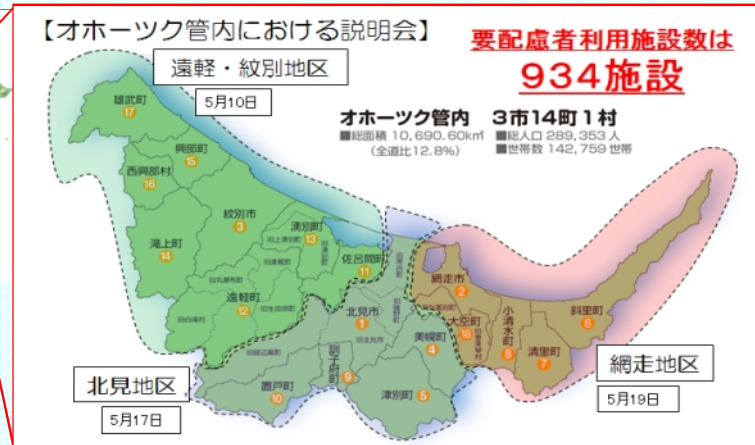
【開催状況】

平成29年5月10日 遠軽・紋別地区
(紋別市民会館)
平成29年5月17日 北見地区
(北見芸術文化ホール)
平成29年5月19日 網走地区
(網走オホーツク文化交流センター)

【説明会の開催背景】

- ◆ 平成27年9月関東・東北豪雨や平成28年8月台風10号等では、逃げ遅れによる多数の死者や甚大な経済損失が発生
- ◆ 「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を実現するため、同様の被害を二度と繰り返さない『抜本的な対策』が急務

【以上の背景を踏まえ、国土交通省、厚生労働省、各自治体が連携して、施設管理者に対して水害・土砂災害時における適切な避難行動についての理解を深めていただくことを目的とした説明会を全国で開催】



【湧別川】洪水氾濫を未然に防ぐハード対策の実施（浸透対策(中湧別右岸)）

- ◆ 湧別川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、腹付け盛土等による浸透対策を実施（中湧別地区右岸）
- ◆ 次年度以降も必要となる箇所について実施。

ハード対策の様子



【湧別川水系生田原川、中土場川】洪水氾濫を未然に防ぐ対策（振興局）

- ◆ 湧別川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、洪水氾濫を未然に防ぐ対策として、**河道掘削（堆積土）と伐木を実施。**
- ◆ 次年度以降も継続的に実施。

ハード対策の様子

- ◆ 河道内の伐木と、河道の掘削を行いました。



河道内の堆積土除去
(生田原川～生田原市街地)



河道内の伐木
(生田原川～生田原市街地)



【湧別川】避難情報や警報の発信体制強化（湧別町、遠軽町防災メール利用促進）

- ◆ 湧別川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、避難情報や警報等の発信体制強化として、湧別町ではサポートメール、遠軽町ではえんがる防災情報メールとエリアメールを運用しており、随時、利用促進を図っています。
- ◆ 次年度以降も継続的に利用促進を図り情報発信体制の強化を行っていきます。

取組の概要 (サポートメール@防災ゆうべつ)

- ・登録制のサポートメールによって緊急防災情報を配信しています。
- ・利用促進のため、町広報誌への特集記事掲載や、避難勧告等の、判断伝達マニュアルへ情報の利用について記載しています。

【配信される内容】

①緊急防災情報

- ・津波警報・大雨警報・水防警報・暴風雪警報など
- ・気象庁が発表する気象情報
- ・災害発生時の避難所情報
- ・暴風雪時の通行止め情報

②国民保護情報

- ・他国からの武力攻撃、ミサイル発射など、国民保護の観点から配信される緊急情報

③交通安全·防犯

- ・交通安全運動・防犯活動など、住民に参加協力を求める自治情報



(防災情報メール、エリアメール)
遠軽町



※エリアメールは平成24年11月から実施

※避難勧告等の判断・伝達マニュアル(水害編)に避難勧告の伝達方法のひとつとして明記
 ※広報紙10月号に水災害に関する特集記事を掲載し、サポートメール利用促進について取り上げ
 ※サポートメール@防災ゆうべつの運用は、平成27年度から実施

【湧別川】 夜間における氾濫水の排水を行うための資機材の整備（遠軽町）

◆湧別川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」において、夜間における氾濫水の排水作業効率化に資する照明車の購入により、排水能力の向上を図るとともに 資機材の整備などによって総合的な災害対応力の向上を図っています。

購入した照明車



◆使用実績

H28年8月の台風災害時において、夜間における排水ポンプ車のポンプ設置時の照明として使用

【保有する照明車の能力】

- ・2KWの照明6基を搭載
- ・最大12メートルの高さから照らす事が可能



【湧別川・渚滑川】 水害リスクの高い箇所の共同巡視を実施（紋別市、遠軽町、湧別町）

- ◆ 湧別川・渚滑川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、流下能力が低い区間や水衝部の水害リスクの高い箇所について、水防活動の効率化及び水防体制の強化を目的に自治体と共同巡視を実施。
- ◆ 関係機関と連携して、今後も継続的に実施。

共同巡視の様子



【湧別川・渚滑川】迅速な氾濫水の排水を行うための操作訓練を実施（紋別市、遠軽町、湧別町）

- ◆ 湧別川・渚滑川減災対策協議会において策定した減災に関する取組方針の「概ね5年で実施する取組」に基づき、水害時における迅速な氾濫水の排除を行うため、災害協定業者に対して、排水ポンプ車及び排水ポンプパッケージ等災害対策用機械の操作訓練を実施。（平成28年度は網走管内で6回実施）
- ◆ 自治体職員も参加し、開発局が所有する災害対策機械の機能や、災害発生時の出動要請手順について、各担当者が理解を深めた。
- ◆ 次年度以降も継続的に実施を予定。

操作訓練の様子

